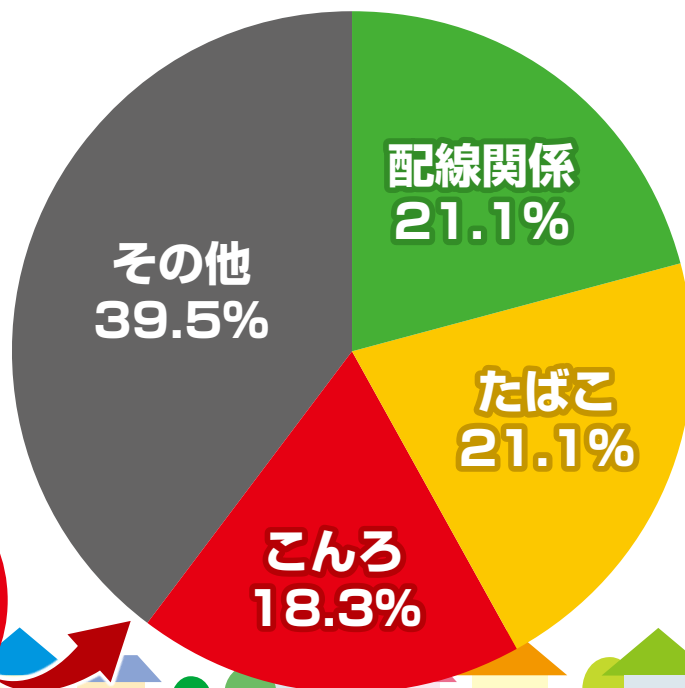
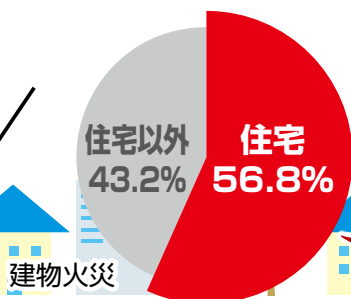


自宅が危険!最も多い住宅火災!!

あなたのお宅は大丈夫ですか?

～出火とその対策～

千葉市で発生する火災の約半数が建物火災で、そのうち約6割が住宅からの火災となっています。ちょっとした注意で火災を防ぐことができます。ご家庭で火災予防について話し合ってみましょう!

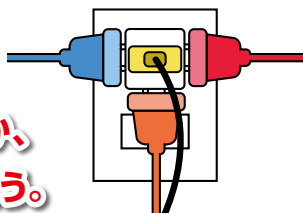


住宅火災の出火原因割合 (令和2年中・千葉市)

1位 配線火災対策

- たこ足配線をしない。
- 電気コードを束ねたまま使用しない。
- 電気コードの上に物を置かない。
- こまめに清掃、点検をおこなう。

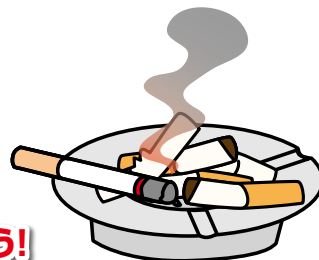
電気機器の配線やプラグは異常がないか、定期的に点検しましょう。



1位 たばこ火災対策

- 寝たばこはしない。
- 灰皿の周りに燃えやすい物を置かない。
- 灰皿に水を入れておく。

灰皿に吸い殻を溜めないようにしましょう!



3位 こんろ火災対策

- 調理中はその場を離れない。
- こんろや換気扇はこまめに掃除をする。
- 安全装置付のこんろを使用する。

こんろのそばを離れるときは必ず火を消しましょう!

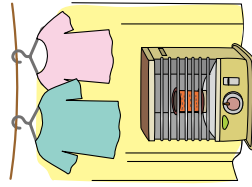


住宅火災注意点

身の周りを確認し、
防災対策を実施しましょう。

風呂釜の空焚きに注意！

- 点火のときは、水が入っているか確認。
- 入浴後も火災が発生したときのために、水は溜めておく。



ストーブの取扱に注意！

- 燃えやすい物を近づけない。
- ストーブの上で、洗濯物を干さない。
- 火が点いたまま給油しない。

見えるところに、
消火器・エアゾール式
簡易消火具を置く！



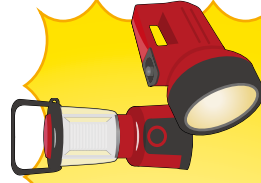
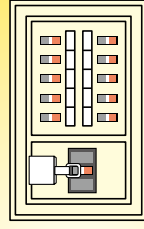
神棚や仏壇等の安全対策！

- ローソクを点けたまま離れない。
- 線香立て等の下には、燃えにくい素材のものを！



地震ブレーカーを設置しましょう！

- 地震を感知して自動的に電源を切る感震ブレーカーを設置する場合には、避難上重要な照明器具（足元灯や懐中電灯）などを留意しておきましょう。



住宅用火災警報器を取り付け！

- 寝室、階段、台所に適切な機種を設置する。
- 住宅用火災警報器は、10年を目安に交換をおすすめします。
- 住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。定期的な動作確認し、警報音を聞いてみましょう。



※ボタンを押して
確認してから
再度点灯して
ください

※リモコンを引いて
確認してから
再度点灯して
ください

寝たばごはしない！
また、吸いがらの始末を
しっかり行う！



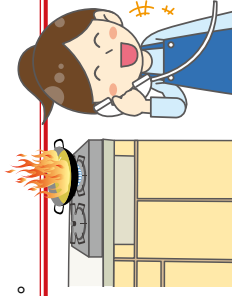
防災処理をした 製品を使う！

- 寝具、カーテン、じゅうたん等は、防災製品等を使用する。



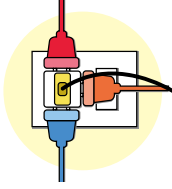
調理中はその場を離れない！

- 離れるときは、火を消してから！
- こんろを使用しないときは元栓を閉める。



放火を防止する！

- 家の周りに燃えやすい物を置かない。
- 夜は外灯をつける。



コンセントなどの取扱に注意！

- たこ足配線をしない。
- 使用後はコンセントを抜いておく。
- 湿気やホコリが溜まると出火することがあるので注意。

